

## 第4回府中市インフラマネジメント計画評価及び改定方針検討協議会

---

平成29年（2017年）11月21日（火）

午後13:00～15:00

府中市役所北庁舎3階 第5会議室

---

### <出席委員>（敬称略）

金子 雄一郎	学識経験者	日本大学理工学部教授
谷垣 岳人	学識経験者	弁護士
根本 祐二	学識経験者	東洋大学経済学部教授
谷本 三郎	府中市自治会連合会	事務局次長兼市民協働対策部長
土方 康志	むさし府中商工会議所	建設業部会部会長

### <事務局ほか>

深美部長、塚田次長、松村課長、小林課長補佐、角倉課長、山田課長、多田主査、  
下田係長、直井係長、志村係長、正木事務  
国際航業(株) 松島、伊藤、車田

---

### <次第>

#### 1 議題

- (1) 議事録の確認について（資料1）
- (2) 府中市インフラマネジメント白書2017年度版(案)について（資料3）
- (3) 府中市インフラマネジメント計画評価報告書（案）（資料4）
- (4) 府中市インフラマネジメント計画2017年度版(案)について（資料5）

#### 2 その他

## 0 開会あいさつ・資料確認

事務局 それでは、定刻でございますので、ただいまから、府中市インフラマネジメント計画評価及び改定方針検討協議会を開会いたします。開会に先立ちまして、都市整備部部長の深美よりご挨拶申し上げます。

事務局 本日は、大変お忙しい中、当協議会にご出席賜りまして、誠にありがとうございます。早いもので、今日最終の4回目ということになっております。本日も前回の協議会でご意見賜りました事を反映させて、白書(案)、そして計画評価報告書(案)、そして計画(案)とご提案をさせて頂いております。どうぞよろしくご支持賜りますよう、お願い申し上げます。簡単ですがご挨拶とさせていただきます。よろしくお願い致します。

事務局 始めに、本日の配布資料を確認させていただきます。  
1つ目が、本日の次第でございます。2つ目が、席次表。  
3つ目が資料1、第3回府中市インフラマネジメント計画評価及び改定方針検討協議会議事録(案)  
4つ目が資料2、訂正箇所一覧  
5つ目が資料3、府中市インフラマネジメント白書2017年度版(案)  
6つ目が資料4、府中市インフラマネジメント計画評価報告書(案)  
7つ目が資料5、府中市インフラマネジメント計画2017年度版(案)  
8つ目が参考資料、府中市インフラマネジメントの紹介(案)  
資料はお手元にありますか。それでは、次第に沿って進めさせていただきます。  
根本会長、進行をよろしくお願いいたします。

会長 それでは、協議に当たりまして、何点か確認を致します。本日の委員の皆様方の出席状況で御座いますが、皆様ご出席をいただいているということで、本日の会議は有効に成立しております。  
続きまして、事務局にお聞きしますが、今回は、傍聴者はいらっしゃいますか。

事務局 はい、今回の協議会の傍聴者は3名おります。

会長 傍聴希望者が3名いらっしゃるということですが、傍聴を許可してよろしいでしょうか。

委員 異議なし。

会長 それでは、事務局からご案内ください。

会長                    それでは、議題に入ります。議題(1)の「議事録の確認について」、事務局からご説明をお願いします。

(1) 議事録の確認について

事務局                こちらは9月15日に行った第3回検討協議会の議事録(案)でございます。委員の皆様からご確認及びご意見をいただきたいと思っております。なお、完成した議事録に関しましては、配布資料とともにホームページ等で公開する予定でございます。以上となります。

会長                    今、ご覧いただき、何かご意見ありましたらどうぞ。それではご覧いただき、何か御座いましたら、一週間以内に事務局のほうにお伝えいただくようお願い致します。

                          続きまして、議題(2)の「府中市インフラマネジメント白書の改定案」について、事務局から説明をお願いします。

(2) 府中市インフラマネジメント白書の改定案について

事務局                それでは、お手元の資料について説明をさせていただきます。まず、議題(2)府中市インフラマネジメント白書2017年度版(案)についてです。**資料2**をご覧ください。

                          こちらの資料は、9月15日に行いました協議会から、大きく訂正した箇所をまとめた一覧表となっております。このあと説明させていただきます資料ごとに、分けて記載させて頂いておりますので、よろしければ、ファイルから取り外して、**資料2**と、このあと該当する資料と照らし合わせてご覧いただければと思います。

                          それでは、**資料3**の4ページをご覧ください。こちらは、前回「インフラマネジメント計画」の下に位置づけしておりました「府中市下水道マスタープラン」の関連計画に移行させていただき、その代わりとして策定を予定しております「府中市下水道施設ストックマネジメント計画」を「個別施設計画」として新たに位置づけさせていただきます。この「ストックマネジメント計画」は、水道にかかるコストを平準化することや、老朽化対策などを計画的に行っていくためのものとなっております。

                          続いて19ページをご覧ください。上段にあるMC I 値の評価めやすの注記を、「望ましい管理水準」とは軽微な劣化は含まれているものの、一般的に安全面で影響がないと判断できる健全な状況を指します。に変更しました。

                          続いて、ページが飛びますが、234ページをご覧ください。こちら

では補修更新費にかかる試算条件のうち、上から4つ目の橋りょうの試算条件を市内の全ての橋りょうについて架け替える場合に変更しました。これは、策定中の橋りょう長寿命化修繕計画との整合を図るためです。

続いて、249ページをご覧ください。左側にあります「分類」という項目の下から2つ目に御座います便益施設としてのトイレの設置費用ですが、こちら近年の設置実績を参考とさせていただきまして、元々850万円とさせていただいておりましたが、一個あたり1600万円ということで、単価を変更させていただきました。

続いて、256ページをご覧ください。このページの1点目の変更箇所は、前は、一番下にある下水道の人件費を年間経費60.10億円とは別で計上していましたが、この60.10億円の中に既に組み込まれているため、削除しました。2点目の変更は、先ほどまでに説明をした、橋りょうの試算条件の変更、トイレの設置費用の変更、下水道の人件費を削除したため、予測額全体が変更になり、下水道を含まない場合の不足額が8.78億円、下水道を含む場合の不足額が34.08億円となりました。この後説明いたします資料5のインフラマネジメント計画は、この数値をもとに検討するようにしています。

続いて275ページをご覧ください。

前は、「市政世論調査の結果」で説明されている現状に対して、市が受け止めている判断、考察を記載する箇所が無かった為、こちら275ページに、考察として記載をさせていただきました。

以上が、白書の修正した内容となっております。お気づきの点御座いましたら、ご意見、ご質問をお願いいたします。

会長                    それでは、説明が終わりましたので、委員の皆様方からご意見をよろしくをお願いいたします。

副会長                橋りょうの費用を長寿命化計画に合わせて変更したということで、結果的に費用が上がったということですか。

事務局                結論から言いますと、費用は上がりました。

副会長                これまでは、全て架けかえるという前提ではなかったのですか。

事務局                前までの白書の捉え方としましては、15m未満に関しましては架け替えをしていく。15m以上に関しましては、補修等をしてそのまま橋を維持していく考えが元で御座います。

副会長                長寿命化計画のほうでは、全て架け替えを前提に計算していたという

ことですね。

事務局 はい、そうです。

副会長 わかりました。ありがとうございます。

会長 他はいかがでしょうか？

委員 249ページのトイレの設置料ですが、1600万円となっていますが、そんなに上がったのですか。

事務局 近年、バリアフリーなどで、誰でもトイレなどが増えてきた関係で、実績額が上がってきてしまい、それを適正に検査したという形になります。

委員 わかりました。

委員 249ページの一番下の施設で、健康遊具というのが43となっているのですが、傾向としては増える傾向にあるのですか。絞ろうという計画があるのならば、増やすことは難しいと思うのですが。

事務局 公園の健康遊具の考え方ですが、地域の属性などを見ながら、高齢者の方が多いところについては、健康遊具とお子様たちが遊べる遊具を複合的に入れるように検討しているところです。逆にお子様たちが多いところについては、お子様に対応した遊具を入れていくという中で、地域の属性を踏まえ、地域の声を聞きながら、対応していくようにします。

事務局 傾向としては、増える傾向でございます。

委員 ありがとうございます。

会長 4-3の予測結果の評価の書き方ですが、最後にそれぞれ、管理経費が不足すると、それに伴って発生する事象を括弧書きして統一しているのですが、4-3-4の標識(263ページの一番下)ですが、これは、標識は「現在の管理経費が不足すると」とありますが、実績額が無いので、日本語としてどうなのか。「必要な管理経費が不足すると」なのでしょう。その上のところの管理経費が、実績なのか予測なのかかわからないので、表現を揃えた方がいいかと思います。

それを踏まえると、3ページ後の下水道は違う書き方になっているので、揃えてはいかがですか。それと何が困るのかという所を括弧でしっかり示すのが、市民にとっては分かりやすいと思います。「安全で衛生的な市民生活に多大な影響を及ぼす」というのが括弧に入るのですかね。「衛生的な」はわかりますが、「安全」とは何ですか。

下水道の担当の方、「安全」とここで記載した時に、市民にとっての安全性が影響を及ぼされるというメカニズムを教えてください。

事務局 はい。下水道における「安全」ということで御座いますが、下水道と

施設の機能に関しましては、本来の汚水や雑排水を処理する以外に、雨、浸水被害の幫助という側面も御座います。下水道の機能が停止してしまいますと、浸水被害等、安全が損なわれてしまい、多大な影響を及ぼすというところを指します。「衛生的」というのは、日常的の汚水や雑排水を処理するという機能のことで、それらの機能が停止してしまう事が、「安全で衛生的な市民生活に多大な影響を及ぼす」生活になります。

会長           そう記載したほうが良いと思います。雨水の管理が十分にされない事による浸水や氾濫の恐れとか。雨水のことだけでいいのですか、下水管が老朽化して空洞化ができるという話はいらないですか。

事務局           下水道の破損により、道路が陥没するという事も安全面では影響があります。破損する事により機能が停止してしまい、雨水の対処、影響を及ぼす可能性があります。

会長           2点書いていけない事はないと思います。

事務局           はい、陥没の原因という事も考えられますので、記載することは検討いたします。

会長           市民に分かりやすく危機感を共有して伝えた方がよいと思います。2点を全部入れると長いと思うので、その場合、すぐ下に注にしても良いと思います。

同じように人件費と歳入の部分では、足りないからといって、全体にかかってくるのでその部分はいらないという事ですね。下水道のところは鍵括弧で記載するという事と、詳しく記載するという事をお願いします。

委員           橋りょうの長寿命化修繕計画で、橋りょうを全部架け替えるという考え方にした事により将来経費が増加したということですが、従前の考え方から新しい考え方へ変わった理由というのを、説明いただければと思います。

事務局           以前の白書の話ですと15m以上の橋りょうに関しては、予防保全の観点で予測経費を算出していく状況がございました。今回、橋りょう長寿命化修繕計画を作成し、細かく計算をしていたところ、算出した予防保全の金額と以前の予防保全の金額に大きな差が出てしまいました。今回の予防保全の金額を明確にお示しできない状況ですが、今年度中に取りまとめて調整させていただきます。

今回の白書における将来予測経費というものについては、通常の維持管理をすると、どれぐらいかかるか金額として算出する事により、予防保全の効果が明確に比較できるようになります。今回は従来の維持管理

の金額に統一させていただきました。

会長 本来、そうすべきだったのですがうっかりしていました。橋りょうを全部架け替えると考えているわけではありません。

委員 橋りょうの長寿命化修繕計画そのものが、今後そういう方針ではないということですか。

会長 はい、架け替えるという方針ではない。分母を計算しているということです。

委員 わかりました。

会長 **資料3**に関しては終了させていただきます。

議題（3）の「府中市インフラマネジメント計画評価報告書（案）」について協議いたします。事務局から説明をお願いします。

### (3) 府中市インフラマネジメント計画評価報告書（案）

事務局 それでは、府中市インフラマネジメント計画評価報告書（案）にはいらさせていただきます。**資料4**をご覧ください。こちらは、前回協議会の中で指摘いただいた内容に基づき修正したものです。先ほどと同様、**資料2**と合わせてご覧ください。

初めに2ページの（1）歳入の確保についてですが、前回ふるさと納税や納税者の氏名をプレートにして設置することなどのご指摘をいただきましたので、文章を「証明手数料適正化を実施しているが、その他に関しては検討した内容が結果に結びついていないため、課題を解決しつつ早急に取り掛かることが必要である。特に、個人からの寄付を含めたスポンサー制度の導入やネーミングライツの導入は、他の事例を参考に導入の可能性を東京都と調整し、可能なことを最大限実施できるよう協議をしていただきたい。また、歳入を確保することは、直接効果に繋がることから、他市の取組事例などを含め、新たな施策を検討していくことも必要である。」といたしました。また、前回話題にあがった東京都屋外広告物条例についてですが、条文の禁止区域の欄に道路や道路施設、公園が記載されており、公益上必要な施設又は物件に寄贈者名を表示する広告物や自己の住所、事業所、営業所又は作業場に表示する自家用広告物などを除き、表示することはできないとのことでした。しかし都内の他市では野球場にネーミングライツを導入している事例などがあるため、その事例を参考に検討することや、東京都と協議し、調整しながら可能性の検討をしていきたいと考えています。

次に（2）持続可能な財政運営ですが、公共施設（建築物）との関係

を強化している。との記載は改めることとご指摘がありましたので、「平成28年度に、府中市公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設（建築物）とインフラの総合的なマネジメントを推進している。持続可能な財政運営という視点を考えると、人口減少や少子高齢化による財政の圧迫を考慮しつつ、さらに視野を拡げて、市全体としてインフラの重要性を認識し、予算配分を見直すことなどを検討されたい。」といたしました。

次に（3）集約化・合同化による効率化ですが、「道路や公園の増加を抑制することがむずかしい。」との記述は、聖域を作ることになるとのご指摘がありましたので、「府中市インフラマネジメント白書の試算結果から、維持管理費用が今のままでは不足することが明らかなため、樹木の健全な育成とコストの削減の双方の効果がある樹木の間引き事業は評価できる。しかし、その他のインフラ施設である道路、橋りょう、公園などは、生活への影響があるため容易に廃止することが出来ない。また、都市計画道路や都市公園など、増加ニーズが予測される施設もある。これらのことから、施設廃止の可否の検討、もしくは総量の抑制に努めるために、施設を新設・更新する際には事前協議を行うなどの対策を検討すべきである。」といたしました。

次に（4）業務の見直し等によるコスト削減では、「市民の効果を記入すべきである」とのご指摘がありましたので、「道路等包括管理事業やインフラマネジメントシステム導入などの取組を実施している。これまでに例の無い事例に、全国に先駆けて取り組み始めたことは評価できる。道路等包括管理事業の目的は、コスト削減と市民サービスの向上である。維持管理費用の削減と合わせて、事業開始前と開始後の苦情・要望の件数を比較すると、約4割減少していることから市民サービスも向上していると言える。この取組は、業務の見直し等によるコスト削減の中の複数の検討を行っていることから、重要な事業と考える。そのため、十分な検証の上で、対象区域の拡大や対象業務の見直しを行う必要がある。」といたしました。

次に（5）市民との協働による管理ですが、施策実行の前に、市のインフラの現状を説明することを記載すること。などのご指摘がありましたので、「市政世論調査の結果から、市のインフラマネジメントの取組は、市民に理解されているとは言い難い。インフラ機能を継続的に維持していくためには、市と市民がそれぞれの責任において共に努力していく必要がある。」



そのために市は、インフラを通じて市民が触れ合う機会を創出することで、市民にインフラの現在の水準が確保できなくなると、道路の陥没や橋りょうが落下する危険性があることなど、インフラの重要性を理解していただく必要がある。市民が理解した上で、市はインフラを大切に利用してもらうことや市をサポートする情報提供をもらえるよう努力する必要がある。」といたしました。

次に（６）ライフサイクルを通じた効率化では、車道舗装について、サイクル検討の評価や検討結果を記載すること。とご指摘がありましたので、「平成２８年度に、街路樹と公園樹木の適切な維持管理計画として、府中市街路樹の管理方針と公園樹木管理計画を策定している。その他の施設についても、安全性を確保した上で、その施設にとって最も効率的な管理手法を検討する必要がある。」

今後は、道路の舗装などのインフラ施設の点検結果を基に検討を行い、長寿命化修繕計画を策定することや、道路等包括管理事業の中で対応、もしくは受託者からの提案を求めることにより、予防保全の観点から管理を行うことが必要である。」といたしました。

最後に（７）管理水準の見直しでは、前半と後半の文章を見直すこと。とご指摘がありましたので、「今の管理水準を改めて確認した上で、市民への安全面での影響がなく、健全なインフラを維持できる範囲で、積極的に見直しを行う必要がある。」といたしました。

以上が、**資料４**評価報告書の内容です。お気づきの点がございましたら、ご意見・ご質問をお願いします。

会長  
委員

はい、ありがとうございました。

非常に細かい文章の話ですが、３ページの（６）ライフサイクルの効率化の第二段落目、二行目の『道路等包括管理事業の中で対応、もしくは受託者からの提案を求めることにより』の中で、『対応』というのは、『を求めることにより』にかかるという理解でいいでしょうか。間に『もしくは受託者からの提案』が入っていますが。

事務局  
委員  
事務局  
副会長

対応「と」提案を求める事に変更させていただきます。

あと、対応の後の点はいらないと思います。

はい。

細かい言葉の問題ですが、２ページの書き方、「検討していくことも必要である」とか、「検討されたい」、「検討するべきである」という事で、これはあえてそうしているのですか。次のページになると、「何々

する必要がある」、という事で統一されている、差を設けるのか統一させるのか、この辺りは少し明確にした方がいい。

会長

原案ベースでは差はない。ご指摘の通りでまだ整理されていない。この場で整理しましょう。1個ずつ確認していきましょう。

(1) 歳入の確保、「最大限実施できるよう協議していただきたい。」相手がいることだから協議ですね。これはこのままでいい。その下の、「新たな施策を検討していくことも必要である。」は、新たな施策を検討することは当たり前の事なので、「新たな政策を導入していただきたい」と変更する。

(2) は「予算の配分を見直すことを検討されたい」、市長に対して出すのですよね。これも、「予算の配分を見直していただきたい」にしていきましょう。この議論はこれぐらいの強さがありますよ。多少なりとも見直しはしないとイケない。

(3) の所は、「施設廃止の可否の検討」と「施設を新設・更新する際には事前協議を行うなどの対策を検討するべきである。」は、施設廃止の可否は強弱が違ふかもしれない。施設廃止の可否は個別の話だから、検討でいいでしょう。事前協議は検討もなにも、行えると言い切れる、「事前協議を行うなどの対策を講じていただきたい」ですね。

(4) 「見直しを行う必要がある」は、「行っていただきたい。」ですね。

(5) は「必要がある」がたくさんある。最後の「情報提供をもらえるよう努力する必要がある。」のところだけ、「もらえるような方策を講じていただきたい。」にする。市民に対しては何かありますか。市長に対して市民と協同して欲しいとっていますが、市民に対してのメッセージではない。3行目の、「市と市民がそれぞれの責任において共に努力していく必要がある。」が「共に努力すべきである。」位の強さが必要です。

(6) が、「予防保全の観点から管理を行っていただきたい。」。最後は、「積極的に見直していただきたい。」は、委員会が主語になるという観点で出来るだけ主張を強く出す、最終的には他のところを含めて、細かな表現に関しては私の方に一任していただければと思います。トーンに関しては踏み込む形でよろしいですか。

委員

はい。

委員

2ページの歳入の確保に入るかわかりませんが、「ふるさと納税」を入れるのはどうですか。今年の8月から府中市が「ふるさと納税」をス

ターゲットさせ、昨年が400万で今年は900万となっています。府中市の詳細は確認していませんが、他市は、インフラの整備に当てるとか、子供の育成にというのを設けている所があるので、府中も取り入れていくことはどうですか。

会長 他市の取組み事例などを含め、例えば「ふるさと納税」のように明記すると良いと思います。

委員 どこかに項目をいれておけば、今後歳入の一部になると思います。

会長 そうですね、具体的に主旨が明記されれば、納税してくれる人もいると思うので総額は増えるでしょう。事務局の方では問題がありますか。

事務局 問題はございません。個人からの給付を含めたという部分に含めたつもりでした。

会長 「ふるさと納税」はスポンサー制度ではない。市民との協同という所で、現在、府中市に住んでいない人達はその仕組みを利用することにより関与できる。具体的に明記した方がいいでしょう。

(7)の、管理水準の見直しというのが、これだけの説明で分かりませんか。管理水準とは何かと問われたらどう答えますか。

事務局 この後に出てきます、計画に管理水準の見直しという項目を設けさせていただいております。道路の舗装について説明させていただいております。

会長 この場所に「道路の舗装等」との文をいれてはいけないのですか。橋りょうの長寿命化も素人的にみると、長く更新しないのは危険なのではないかと思う。そうではなく、こういう管理をしますという話をすれば理解できる。同じような話ではないかと思う。

注をいれるか、「道路の舗装の水準など」をいれるか、そこだけ入れると逆にぎらつく感じはするが。事務局はどう考えていますか。

事務局 管理水準の見直しは、道路の舗装のみで考えていますので、見直しの方は出てきていません。「など」という書き方をした時に説明できないと思います。

会長 ここは、包括的に色んなことを考えなさいという事ですよ。今の技術で一番簡単にでき効果が大きいものは舗装の話ですが、それ以外にもあるかもしれない、あまり限定しない方がいいというなら、今の書き方が良いかもしれない。書き方は変更せず、質問があったら説明するというようにするのも良いかもしれません。わかりました。

他はいかがですか。次との関係がありますので、**資料5**のほうをよろしくお願いします。

#### (4) 府中市インフラマネジメント計画2017年度版(案)について

事務局

府中市インフラマネジメント計画2017年度版(案)について。資料5をご覧ください。こちらは前回のご指摘から修正をおこなったインフラマネジメント計画の改定案です。こちらも先ほどと同様、資料2と合わせてご覧ください。

初めに26ページをご覧ください。現行のインフラマネジメント計画にも同様のページがありますが、施策の取組による効果(要旨)を1枚にまとめたページを追加することで、前半を読めば計画の概要が分かるようにと考え追加しました。

次に40ページをご覧ください。こちらは公園の占用料、使用料の適正化についても、道路占用料と同じように検討ができないかと考えたため追加しました。この中で既存駐車場等の利用料を改正することなど、既にある施設の運用方法の変更などを検討したいと考えています。

続いて54ページをご覧ください。こちらは包括管理事業の中に公園を含めて考えるとさらに効果が上がることを説明するために追加しました。上段の表の差額という欄に記載がありますが、公園を含めて包括委託した場合は、1年間で0.64億円ほど効果額が増加すると見込んでいます。なお、郷土の森公園については、別の施策で指定管理者制度の対象としているため効果額から除外しています。

続いて68ページを下段の「主な取組」の2番をご覧ください。こちらには街路樹に関する施策として「2m未満の歩道にある街路樹の伐採」を追加しています。効果額については後ほどご説明いたしますが、内容としては、市民が狭い歩道でも安全に通行にできるようになる施策と考えています。

続いて90ページをご覧ください。前回のご指摘で下水道に関する考えについて検討することとありましたが、33年までの短期計画の間に「下水道施設ストックマネジメント計画」を策定し、下水道使用料金や老朽化対策について検討を行うものとししました。

続いて92ページをご覧ください。管理水準の見直しについて、舗装の管理水準を限界まで下げることが許容する場合の補修費用を例として記載しました。幹線市道のMCIを6.0、一般市道のMCIを5.1に下げるときの車道舗装の補修経費を試算した結果、舗装の管理水準を限界まで下げることが許容する場合は、マネジメント期間全体で年間0.78億円の経費削減効果が見込めます。

続いて、93ページをご覧ください。このページから106ページかけて前回のご指摘から、施策の効果を「歳入」、「歳出」、「歳入と歳出の合計」で構成するように変更しました。

続いて97ページをご覧ください。先ほどの「2m未満の歩道にある街路樹の伐採」の効果額ですが、下から4行目の一番右列に記載があるように、年間300万円程度を見込んでいます。これと比較し、99ページをご覧ください。こちらの表の上から4行目の街路樹（伐採委託）の一番右列では初期投資としての伐採費を年間500万円程度で見込んでいます。この2つを比較すると、本計画の計画期間である平成30年から64年までの35年の間では、200万円ほど費用の方が多くかかることとなります。しかし、市民の安全な通行とさらに長期的な視点で見ると効果がでるため有効な施策と考えています。

続いて104、105ページをご覧ください。こちらでは下水道を除く場合と含む場合に分けて施策の効果額を記載しています。白書の試算条件の変更による予測結果の変化や前回協議会には載せていなかった施策を追加したことなどにより、歳入確保と歳出削減効果は合計で年間3.74億円となりました。

続いて108、109ページをご覧ください。こちらには、施策を行ってもなお、現在の実績と比べると不足してしまう金額を記載しています。こちらも先ほどと同じように、下水道を除く場合と含む場合に分けて不足額を記載しています。施策による効果額を考慮した年間の不足額は、下水道を除く場合は年間3.43億円となり、下水道を含む場合は27.12億円となりました。

続いて110ページをご覧ください。こちらには施策を行っても不足する金額をなくすための市の取組をまとめています。見込みとしては、まずは現在効果額を見込んでいない、もしくは現在は見込むことが出来ないこちらの表の施策を推進し、不足分を賄うこととして考えています。こちらについては、本計画策定までに効果額が明らかになったものを反映していきたいと考えています。

続いて113ページをご覧ください。こちらは前回計画の見直し期間を概ね10年としていましたが、今回のように社会情勢の変化に対応して見直す場合もあるため柔軟な見直しを、定期的に行っていくこととしました。

続いて115ページをご覧ください。こちらには、資料4評価報告書の前半部分を抜粋して追加しました。

以上が、計画の素案の内容です。お気づきの点がございましたら、ご意見・ご質問をお願いします。

会長

それでは、ご意見をお願いします。

施策の目標の表現が微妙に違うものがある。アウトプットとアウトカムの違いかもしれませんが、「機能を維持します」というのはアウトカム、「管理を継続します」は少しアウトプット。「手法を採用します」は、完全に方法論で手法を採用してどうするのか、改めて見直すと表現が違ふ。この例は公園緑地ですが、「公園長寿命化修繕計画により更新経費を削減できる手法を採用します。」と記載されていますが「更新経費を削減します」となる。その辺りをもう少し見直したほうが良い。機能を今までとおりに維持するものと、多少見直すもの。費用を今まで以上に増やさないと減らすもの。方法を明示されているものといないものと、いくつかパターンがある。伝えたいことは分かるが表現をそろえる必要はあります。気になる所はありますか。現状の範囲でよければ、揃える所は事務局と私の方で修正します。

下水道ですが、金額が非常に大きい事に対して、ストックマネジメント計画だけでいいのか。料金の適正化というのは、ストックマネジメント計画の中に入りますか。

事務局

はい、ストックマネジメント計画ですが、老朽化する下水道管について、詳細な調査を行い、その結果に応じて修繕するスケジュールをまとめていき、補修更新の費用を平準化していく事になります。簡単に言いますと、50年経った管を全部その年度で修繕するのではなく、50年経った管であっても、あと5年、10年と維持できるか検証し、計画的に修繕していく。それにより、膨大な費用に係るところを、平準化する事により安定的な財政を図っていく計画になります。補修更新費用というのは、下水道使用料で全てまかなえるものではなく、将来にわたる資産という事で起債になり、下水道使用料が足りなくなることはございません。補修更新費は長期的に返済していくという流れになる。今後、人口減少がおき、水道を使用しなくなり、収入が減少していくとまかなえなくなるので、その為のストックマネジメント計画で経費を平準化していくというのが今回の計画になります。

会長

料金改定をするのかしないのかという事なのですが。

事務局

料金改定は改築に係る費用は使用料で全部まかなえるものではないので、返済にかかる費用が現在の使用料ではまかなえないという状況にな

ったら必要になります。

会長 選択肢としてはあるということですね。この表現だと選択肢にないという風に受け取れる。あえて書かない事により将来的に足かせにならないか。平準化でずっといければ、値上げしなくていいのかもしれないが、集中するので、分散することが完全に出来ればいいが、通常はできない場合が多い。

事務局 32ページで、「下水道使用料適正化」について記載しております。使用料が足りなくなりそうという時に適正化を考えております。

会長 はい、わかりました、両方見ないといけないという事ですね。

副会長 5の参考資料(114ページ以降)ですが、資料4の所で議論した内容が参考資料として記載されていますが、どういう位置づけですか。PDCAを回した中で検証した結果等、どこかに記載されているのか、記載されている場合、どこにあるのか場所を教えてください。

事務局 計画改定の背景と目的(4ページ)があり、下の「目的」という部分で「本計画」は、これらを背景として、「PDCAサイクルによる継続的实施」で、計画を改定する目的がPDCAサイクルによるものと、という事を表現させていただいております。

副会長 参考資料に記載されたものがどう位置づけられているかを記載しないと、これがどう反映されているか、市民がわからないと思います。4ページの所に綴っていただいたほうが良いと思います。

事務局 検討させていただきます。

会長 107ページは、「要するにどういうことか」という部分が大事だと思うのですが、文章を読まないとわからない。106ページの様なグラフやイラスト等を挿入した方が見せ方として良いと思う。

7.17億円/年不足すると見込んでいたのが3.74億円/年努力すれば効果がある。ただし、3.43億円/年残るということですね。読み方としてはそれで良いですね。半分は努力の結果どうにかなるが、半分はならない、その部分は数字にならない様々な努力で約4億円/年どうにか財源が出てくれば下水道を除けばどうにかなる。そこが市民にとって分かるかどうか、どのぐらい足りないのか、どのぐらい頑張っ、どのぐらい残るのか、そこが一目でわかるように、見せ方を工夫した方がいい。

事務局 26ページのグラフを載せて対応したいと思います。

会長 そうですね、そこは同じものを持ってきた方が良いですね。

委員 計画は、市民向けですね。そうすると、4ページの【背景】の所で

すが、「道路法の改正」となっているがどこが改正されたか記載して欲しい。市民が分からないと思います。

事務局

はい。

会長

組織体制（112ページ以降）の所で何かありませんか。PDCAをどういう場でどういう仕組みで回すか、「インフラマネジメントを取りまとめる部署」は、具体的に何か予定があるのですか。

事務局

管理課の中にインフラマネジメント担当という部署を設けておりますので、そこで取りまとめていくという考えがあります

会長

公共施設の情報を一元的に管理するという表現とインフラマネジメントを取りまとめるという表現は微妙に違うが意味がありますか。

事務局

インフラの事に関しては、インフラマネジメント担当は管理課にございまして、管理課は道路については維持管理を含めて行っており、公共施設に関しては維持管理はしていませんので、少し言葉としては変えさせていただきます。

会長

この二者で、財政と話をすれば事足りる話ですか。

事務局

後は、行財政改革推進本部で、その中で会議がございましてその中の進捗状況の報告を行います。

会長

そういう所で調整を行いますと書いておくと良いのではないですか。どういう組織か分からないが、予算配分の見直しとも言っているので、インフラマネジメント担当だけで決着が付く話ではない。できるだけ高い次元で、各担当が横並びに並ぶような感じで意思決定ができる事が経過的な調整になります。

PDCAも年に何回開催されて、何を報告して、何を變更して、細かな部分はどこが行うのか、そういう部分が出来てこない、結果的にPDCAが回っていかない、今の段階ではこれ以上書けないということですか。管理課でまとめることで上手やれそうですか。

事務局

現在の状況では、管理課でまとめる事は難しそうです。ただ、インフラマネジメント担当を設けておりますので、こちらは強化していきたいと考えております。

会長

人員を増やすぐらいで良いのなら制度を変えなくても出来るが、組織的な変更をするのであればここに書いておかないと、市民が現状のままが良いと捉えてしまう。

事務局

検討します。

会長

他はいかがでしょうか。それでは次第2のその他について事務局から説明をお願いします。



## 2 その他

事務局

はい、4点ございます。

はじめに、参考資料「府中市インフラマネジメントの紹介」としまして、市民の方々にインフラマネジメントの内容を理解していただくために作成したパンフレットです。新たな施策にも位置づけましたが、市民はインフラの維持管理や課題について関心が高いですが、市の行うインフラマネジメントを知らない方が大多数でした。このことを課題として捉え、まずは概要だけでも知っていただくことが必要と考えます。

パンフレットの内容としては、初めに「インフラとは、インフラマネジメントとは、白書とは、計画とは、なぜ必要なのかを説明し、次に目標や基本的な考え方、主な施策を載せております。そして、インフラ計画に基づく施策を実施した場合の削減額及び実施してもなお費用が不足することをグラフで見せた後に、最後に市民の理解と協働の必要性を説明したいと考えています。

以上が参考資料の説明です。

会長

そこで、一旦区切ります。参考資料となっておりますが、これまでの議論を踏まえた内容になっているか、これを見て市民が理解できるのかという事ですね。こちらは、市民の意見は反映されていますか。

事務局

今回は市職員の意見です。市民の意見は反映されていませんが、インフラマネジメントに携わっていない市職員に見ていただきました。

副会長

見た目はある程度分かりやすいが、何故費用が増加するのかという説明が不足しており、これだと伝わりづらいと思う。何故増加するのか、道路延長も増える前提で予測していることも関係していると思う。具体的にどうすれば減らせるのかという部分が詳しく書かれていない。対策を行うとどれぐらいの効果があるのか伝わらないと思う。

会長

先にご意見があれば、よろしく願います。なかなか、これを理解するのが難しい。今のご意見からすると3ページ目の上のグラフは多少そういうニュアンスがある。実際のグラフですよ、

事務局

はい、実際のグラフです。

会長

青の突出している所は何年ぐらいですか。

事務局

平成60年弱ぐらいです。

会長

そこが目立ちすぎて、その前が問題なく見える。「長期」の「長」の上辺りは何年ぐらいですか。

事務局

「長期」の「長」は真ん中になりますので平成50年ぐらいです。

委員

突出した部分に何故こんなに増えるのか説明がほしい。

副会長 舗装の更新が集中したのですか。

事務局 はい、舗装等が集中した結果そうになりました。

委員 砂利道から舗装にして、ちょうど50年とか分かりやすく記載しておいたほうが良いと思う。

副会長 平準化とか、市民の方だと言葉として難しいと思う。行政の方は理解できても市民は難しい。

会長 他の自治会の例だと、概念図でピラミットを2つ作りわかりやすくしている。市民が見た時に、古くなるのは当たり前で今まで対策してきたはずなのに、なぜ急にお金が足りなくなるのという部分からくる。それは、集中投資したからで、それはあなた達のためにやったのですよと、老朽化の集中となるのだから必然なのですが、一見したら市長が悪いという印象を抱く。そうではなく、誰がやっても同じである。あまりテクニカルに細かく説明しない方が通じる例が多いと思う。老朽化すると壊れる、財源が全く追いつかないは、原因の話なのでそれを先に持つてくる、その後を取組の話をもつてくる、ここまで対応してもまだ3.43億円足りないので、市民の皆さんにもお手伝いしていただきたい。最終的に4ページの部分を言いたいわけですよ。

事務局 どういう所で配布するのですか。

事務局 来年度のシンポジウムでの配布や、自治会や老人会等での配布を予定しております。

会長 市民の皆さんが真剣に考えてくれるかもしれない。老朽化の事例に迫力がない。もう少し壊れた悲惨な写真とかはないのですか。府中市の事例ではなくも、一般論でこうなるという事例で良いと思いますよ、

事務局 道路の陥没はありますか。

事務局 陥没はないです。

会長 そういう可能性があれば、そういうのもしっかり見せると良いと思う。

委員 写真だと小さくて分かり辛い。イラストとか、そのほうが単純化して分かりやすいと思う。

会長 最後の相対比較は要らないのではないか。

委員 非常に多いなら別ですか。

会長 量があれば、車道とか長さでいった方が良い。

市民に伝えたいことは協働だけで良いのですか。予算配分の見直しみたいなものは、市民の頭の中で優先順位を付け替えてくださいと、公民館を建替えるよりは橋りょうを大事にしようと言いたいわけで、これだと話が矮小化されているかもしれない。全般的なマネジメントはどうなの

か、「予算配分の見直し」というのをどこかに記載してほしい。それぐらい大きな問題だと、命に別状があるインフラを大切にしようという、そのキーワードをどこかに入れて欲しい。

今までの所で、何か抜けていたという部分があればお願いします。

よろしいですか、今回の案件に付きましては事務局の方で取りまとめていただいて、私の方で対応いたします。

それでは、次第のその他の1点目を先ほど説明していただいたので2点目以降の説明をお願い致します。

事務局

2点目につきまして、今後の予定でございますが、本日の頂いたご意見を反映したものを、12月下旬に根本会長から市長へ答申としてお渡しさせていただきます。ご承知おきください。その後、2月中旬から30日間、パブリック・コメント手続きを行い、いただいた意見を反映し、3月を目途に策定し、5月の建設環境委員協議会に報告した後、公開をする予定です。なお、委員の皆様には、あらためてお届けさせていただきます。

3点目につきまして、資料1の第3回検討協議会の議事録につきまして、今月中にホームページに載せる予定でございますので、ご意見などがございましたら、11月28日（火）までに事務局へご連絡下さい。

最後に、本日の検討協議会の議事録でございますが、議事録（案）を作成しましたら委員の皆様へ送付いたしますので、内容の確認をいただき、その後、公表したいと思えます。

その他の事項につきましては、以上です。

会長

市長答申の時は、皆様にもご案内いたします。ご出席いただける方は参加していただいて良いですか。

事務局

今考えているのは、根本会長に代表して

会長

そうですか。

事務局

出席していただければお願い致します。

会長

人数が多いほうが良いですから、是非委員の皆様もご都合がつく範囲でお願いします。

以上になりますが、他に何か委員の皆様からございますか。

委員

市の担当者の方々ありがとうございます。そして、府中市は金儲けが下手だと思います。

私事ですが、自治会で助成金を使い掲示板を11機設置してもらいました。助成金制度を上手く利用することは大変ですし、忙しいと思えますが色んな所の制度を利用すると今以上の財源を確保できると思

います。申請書を作るのは大変ですが、これからも続けて、元気でいる間は申請書を提出し、少しでも住んでいる市にご協力をしたいと思っています。

会長 東京都の助成金ですか。

委員 宝くじの助成金です。

会長 大変、結構だと思います。ありがとうございます。他にありませんか、無いようでしたら事務局に返します。

事務局 はい。最後に、本日の最終回の協議会にあたりまして、都市整備部長の深美からご挨拶をさせていただきます。

事務局 委員の皆様、お忙しい中、全4回にわたるご協議を頂き、誠にありがとうございました。本計画は、本市のインフラの安全性を守ることを目的とし、今後実行していくものとなります。実施におきましては、市民に現状を理解してもらいつつ推進をしてまいりたいと思います。全4回にわたり、委員の皆様方には、ご多用の中をご出席いただき、厚くお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

会長 それでは、これで終わらせていただきます。ありがとうございました。